

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|-----------------------|--------|--------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 稲沢市役所 | | | 代表者名 | 加藤錠司郎 |
| 担当者部署(属性) | 情シス担当 | 担当者部署名 | 総合政策部デジタル推進課 | 連絡先電話番号 | 0587-32-1142 |
| 担当者役職 | 主査 | 担当者氏名 | 鈴木香里奈 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 492-8269 愛知県稲沢市稲府町1番地 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | | | |
|-------|--|---------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | | | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | | | |
|----------|---|-----|----------|--|--|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修（複数団体） | 事業名 | DX人材育成事業 | | |
| 概要 | 近隣市町村と合同で「DX意識調査」を実施するため、自治体職員が調査結果についてデータ分析でき、庁内のDX推進に向けた取り組みの一助となるような知識を習得する。 | | | | |
| 支援を求める分野 | 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） | | | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|---------------|--------------|------------|--------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和7年10月16日 | 講演(実地) | 9時15分 | 11時45分 | |
| | | | 活動時間（分） | 150 | |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | 稲沢市役所 | 最寄駅 | 国府宮駅 | |
| | 所在地 | 愛知県稲沢市稲府町1番地 | 最寄駅からの交通手段 | 市コミュニティバス | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 遠藤 守 |
| 評価 | 大変良い |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 昨年度から実施している近隣自治体合同の「DX意識調査」を今年度も実施するに当たり、事業内容の理解と自治体職員がデータ分析に関する知識を習得するための研修を実施して頂きました。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 引き続きよろしくお願いします。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | | |
|----------------|-------------------------|-------|-----|-------|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 合計人数 | 15人 | |
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 |
| 人数 | 15 | 0 | 0 | 0 |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|------------------------|---|
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | 11月に実施する5市合同DX意識調査を実施するにあたり、設問項目等の確認や今後、自治体職員でもデータ分析ができるようになっていく必要がある。 |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | 本調査実施前に、自治体職員がデータ分析に関する知識を習得し、3回目の支援で本調査結果の共有を図ることで各自治体職員のDXに関する意識や使うことのできるデジタル技術の現状を包括的に把握します。この結果は、DX研修の立案や施策の改善に活用でき、職員のDXリテラシー向上につながります。これにより、行政サービスの効率化と住民満足度の向上を実現し、地域の持続可能性向上に付与することができます。 |

| | | |
|---|--|---|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 5市とアドバイザーとの顔合わせを行った上で、データ活用の他自治体での事例を紹介していただきながらDX意識調査の有効性についてご講義いただきました。また、自治体間での情報交換を実施し、連携を図ることができました。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 設問項目の確認やスケジュールについて共有することができた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今回はデータ分析に関する研修及び調査前の会議であるため、具体的な成果物はありません。 |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 次回支援の前にDX意識調査を実施し、その回答の分析結果を次回、速報値報告をして共有する。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート未実施 | |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある 次年度以降、引き続き実施できるように職員がデータ分析できるよう取り組んでいく。 |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 職員のDXに関する意識や使うことのできるデジタル技術の現状を包括的に把握することで、DX研修の立案や施策の改善に活用し、職員のDXリテラシー向上につなげていきます。 | |

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」**を数枚程度貼り付けて下さい。

